

IV.保守管理

(1) 防火管理者の責務

取付金具も、スローダン125本器と同様に防火管理者の責務(消防法施行令第4条)として、消防法第17条3-3により『定期点検』を行い、消防長又は、消防署長に点検結果を報告することが定められております。

(2) 法定点検

[イ] 点検時期及び点検事項

点検時期	点検事項		
	点検対象物	点検内容	種別
6か月に1回以上	取付金具	1.損傷、腐食等の目視検査 2.取付金具の作動状況 3.取付固定部材の状況	機器点検

[ロ] 点検内容の詳細

- ① 点検業務は、消防設備士、又は消防設備点検資格者等の有資格者が行ってください。
- ② 損傷、腐食等の目視検査とは、取付金具、取付固定部材等の金属部の損傷及び錆の発生の有無を目視で検査することを言います。
- ③ 取付固定部材とは、取付金具を建物等に取り付けた「ボルト」及び「ナット」のことを言い、点検時には、損傷、腐食等の有無の確認、及び所定のトルク値(40N・m)にて引抜強度の確認をして下さい。
- ④ **点検時に異常が認められた場合は絶対に使用しないでください。**
その場合には速やかに保守点検契約者又は、施工者(避難器具の施工業者)に点検・整備を依頼してください。

(3) その他の注意事項

- ① 上記法定点検以外にも、**随時建築物との取付状態及び腐食に留意し、異常が認められた時は絶対に使用しないでください。**
その場合には、速やかに保守点検契約者、又は施工者(避難器具の施工業者)に点検・整備を依頼してください。
- ② 建築物の増改築等による移設や増設の際は、所轄の消防署に届け出が必要となりますので、保守点検契約者、又は納入者(避難器具の施工業者)にご連絡ください。

保守点検業者連絡先

納入業者連絡先

製造者連絡先



株式会社

消防科学研究所

本社 東京都中央区日本橋小舟町4番11号 第2南川ビル

〒103-0024 TEL 03-3665-0451 FAX 03-3665-0454

大阪支所 大阪府中央区久太郎町1丁目2番16号 三星中央別館703号

〒541-0056 TEL 06-6261-4578 FAX 06-6261-4568

緩降機 スローダン125

取付金具

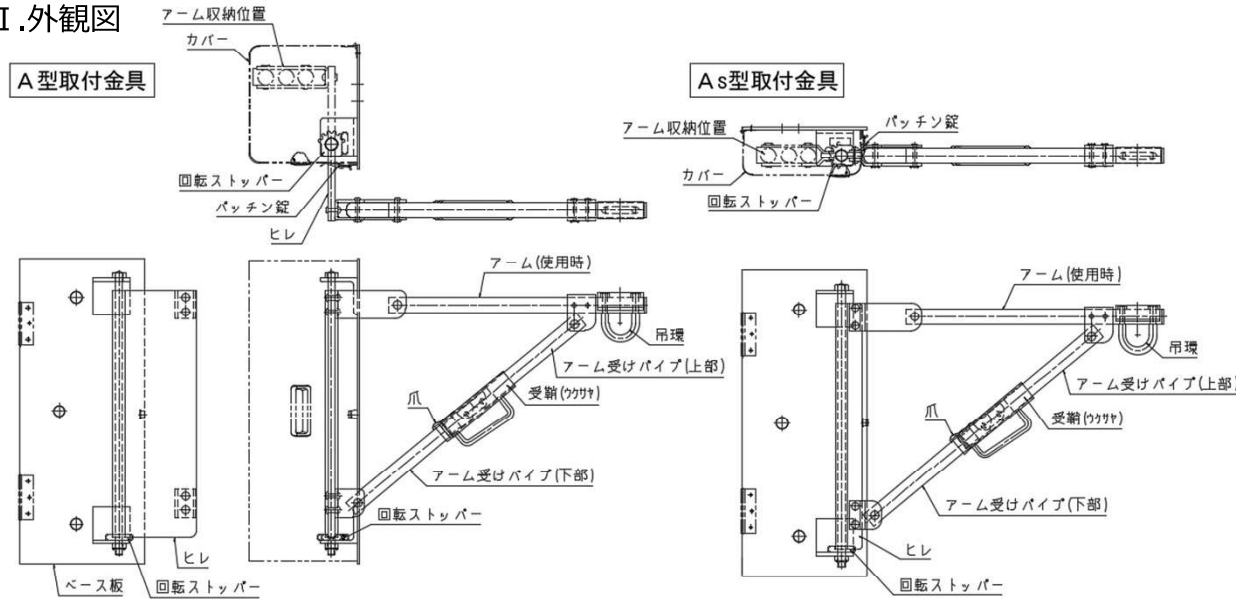
【A型・As型取扱説明書】

この取扱説明書は、緩降機【スローダン125】の取付金具、【A型・As型】の取り扱い上の注意及び、保守管理上の注意事項に関して記述したものです。常に本体と一緒に保管し、活用してください。

I.概要

【A型】【As型】取付金具とは、折畳式のアームを有した壁付の緩降機『スローダン125』取付金具で、使用時にカバーを開き(カバー取外し式はカバーを取外し)、アームを回転・展張させて使用します。
 【A型】【As型】は、「ヒレ」等の形状の違いはありますが、基本的な操作は同じです。
 設計荷重4KN(400kgf)に耐えるよう設計し、十分な品質管理の基に製造しておりますが、恒久的なものではありません。 常日頃の点検をお願い致します。

II.外観図

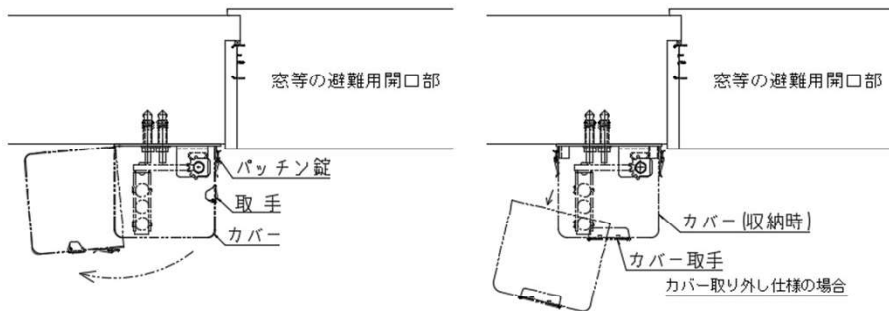


III.操作説明

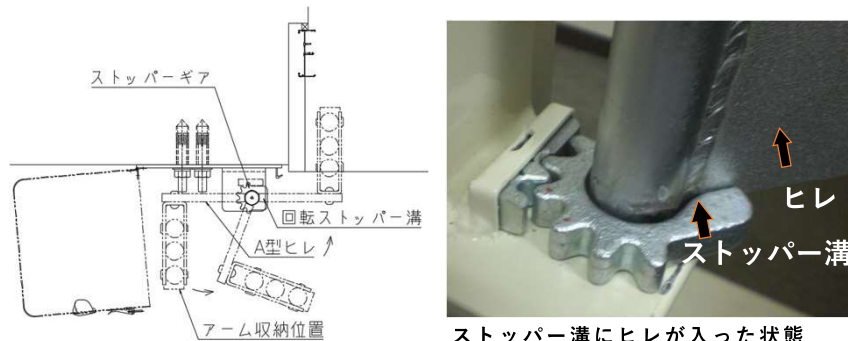
(イ)正しい使用方法

この取付金具を使用して安全に避難する為に、下記の操作手順を厳守して正しい操作を行ってください。

- ・手順<1> 避難用開口部に窓、扉等がある場合は開きます。
- ・手順<2> 取付金具のパッチン錠を外し、取手を引いてカバーを開きます。
(パッチン錠がついていないタイプはそのまま開きます。また、特殊仕様でカバーを取り外すタイプもあります。)



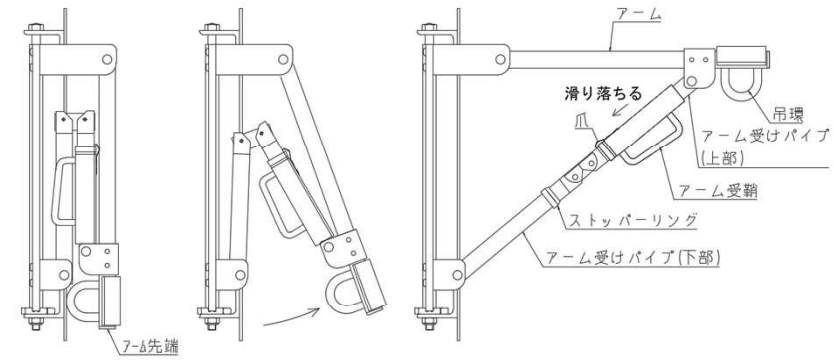
- ・操作手順<3> アームを収納位置から回転させ、回転ストッパーの溝に入るまで回転させます。
(ヒレが回転ストッパー溝に入ると少し下がります。)



△注意 収納する時は、ヒレを持ち上げ、必ず溝からヒレを出して収納してください。

ストッパー溝にヒレが入った状態

- ・操作手順<4>アーム先端を持ち、アームを振り上げます。



アームの先端を振り上げると、折りたたまれた上部・下部アーム受けパイプは一直線になり、全体が三角形に組み立てられます。

△注意 この時、折れ曲がり防止の受鞘(ウケザヤ)は、アーム受けパイプ中央部に落差により自然に滑り落ち、ずれ止め用の爪がストッパーリングに掛かるようになっていますが、万が一爪が掛からない場合は手でずらし、ストッパーリングに掛けてください。

*アームを振り上げるとき、窓枠等の障害にアーム先端が当たる場合は、ヒレをある程度回転させ、アーム先端が障害を越えた位置で振り上げるとアームを展張することができます。

- ・操作手順<5>スローダン125の安全環を取付金具の吊環に確実に取り付けます。

*アームが長い場合は、操作手順<4>*印のアームを組み立てた後、吊環にスローダン125の安全環を掛けた後ヒレを回転させ、回転ストッパーの溝に入れることもできます。

以上で【A型】【As型】取付金具の操作は終了です。
 以後は別冊の『スローダン125取扱説明書』に基づき操作をして下さい。



(ロ)正しい収納方法

- ・手順<1> スローダン125本器のロープをリールに巻き取った後、アームの吊環からスローダン125の安全環を外します。
 ※スローダン125本器の収納方法は『スローダン125取扱説明書』を参照ください。
- ・手順<2> **アーム先端に手を添え**、受鞘(ウケザヤ)の爪をストッパーリングから外し、受鞘を上にはずらします。
 受鞘を上にはずらすと、上部・下部アーム受けパイプを折り畳むことができます。

△注意 アームを折り畳む時は、必ずアーム先端に手を添えてください。
 手を添えずにアーム受けパイプを折り畳むと、アームが急に落ち、指等を挟んで怪我をする恐れがあります。

*アームが長く、スローダン125の安全環を外すのが困難な場合は、途中までアームを回転させ、手の届く位置で安全環を外します。

△注意 上記の操作を行う時は、必ずヒレを持ち上げ、溝から外してから行ってください。
 ヒレが回転ストッパーの溝に入ったままアームを無理に引っ張ると、ストッパーギアが破損する恐れがあります。

- ・手順<3>ヒレを持ち上げ、回転ストッパーの溝から外し、ベース板と平行になるまで回転させアームを収納位置まで戻し、最後にカバーを閉めます。

△注意 防水型のカバーを閉め忘れると腐食の原因になりますので、ご注意ください。

(ハ)その他の注意事項

下記のような行為は絶対にしないでください。重大な事故や故障の原因となります。

- △警告** ①荷物の運搬や窓の清掃など、『避難の目的』以外に使用しないでください。
- ②設計荷重4KN(400kgf)以上の荷重を掛けないでください。